

八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録

開催日時	平成30年8月7日(火) 午後2時30分から午後4時00分まで	開催場所	八潮市役所別館 A会議室
出席者 (敬称略)	(1号委員)高橋秀夫、平本なるみ、大野ヒロ子、齋藤勝、右川清夫 (2号委員)山田 洋、中島 義博 (3号委員)高坂里美、佐藤美智子		
欠席者 (敬称略)	古庄 正登(1号委員)	傍聴者数	0人
審議内容及び審議結果の概要	<p>平成30年度八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 委員紹介 3. 会長の選出について 4. 会長あいさつ 5. 議 事 <ul style="list-style-type: none"> ・八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について 6. その他 7. 閉 会 		
提供資料	<p>八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会次第</p> <p>資料1 八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会規則</p> <p>資料2 八潮市附属機関の会議の公開に関する規則</p> <p>資料3 八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会委員名簿</p> <p>資料4 平成30年度(平成29年度実施事業)八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業 評価調書</p> <p>参考資料1 八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略</p> <p>参考資料2 八潮市人口ビジョン</p> <p>参考資料3 調書の見方</p> <p>追加資料1 八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成29年度実施事業)基本目標ごとの状況一覧</p> <p>追加資料2 八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 質問一覧表</p>		

【議事詳細】

平成30年度八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会

1. 開会

2. 委員紹介

・事務局

平成29年度八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会後に2名の委員の退任があり、新たに2名の委員を委嘱したことを報告した。

委員の自己紹介を行った。

3. 会長の選出について

・事務局

出欠の状況を報告（1人欠席）するとともに、委員の退任により会長が欠けている旨の説明をした。

会長代理（平本委員）の進行のもと、推薦により山田委員を会長に選出した。

4. 会長あいさつ

5. 議事

◎八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

・事務局

八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要、事務事業評価調書の見方、平成30年度（平成29年度実施事業）八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価調書について説明した。

◎基本目標1

・事務局

基本目標の趣旨、数値目標、事業の状況について説明した。

事務局から、事前質問とそれに対する回答について説明した。

◎基本目標2

・事務局

基本目標の趣旨、数値目標、事業の状況について説明した。

事務局から、事前質問とそれに対する回答について説明した。

・委員

資料4「平成30年度（平成29年度実施事業）八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価調書」、17ページ、「基本目標2 人や情報の交流による[住みやすさナンバー1のまち八潮]

の発信」の数値目標「八潮市に「住みたい」人の割合（20～40代）」に関連して、人口の増加には若い世代、子育て世代に八潮市に「住みたい」と思ってもらう必要がある。それに対して、八潮市には児童館等の子どもが集える場所が少ないという声をよく耳にするので、そういった場所を増やす必要があると思う。

・委員

事務局には検討をお願いする。

・委員

資料4、17ページの基本目標2に「人や情報の交流による[住みやすさナンバー1のまち八潮]の発信」とあるが、[住みやすさナンバー1のまち八潮]というスローガンについて、市民の認知度も低く、対外的な発信が少ないように感じる。そこで提案だが、このスローガンが書かれた広告を八潮駅前に出すことで市民への浸透、また、駅を利用する方に周知が図れるのではないかと。

・委員

市外の人間から見ると、そもそも、八潮市の知名度が低いのではないかとも思えるが、そこも含めて、事務局から回答をお願いしたい。

・事務局

[住みやすさナンバー1のまち八潮]については、現状において全ての市民が認識しているわけではない。八潮駅前には多くの人目に触れる機会があり、委員の提案は有効な方策の一つであると思われるので、担当課との調整も含め、参考とさせていただく。

・委員

[住みやすさナンバー1のまち八潮]を普及し、八潮市の知名度を上げることは喜ばしいことだが、「市民が求める住みやすさとは何か」ということにも目を向けてほしい。八潮市は、南と北でわずかな距離しかないが、住みやすさには大変な格差があるように思う。

・委員

資料4、17ページの数値目標「観光資源（「中川やしお水辺の楽校」「中川やしおフラワーパーク」「やしお駅前公園」）来訪者数（年間）」について、人口が増えているのに対し、「やしお駅前公園」の来訪者数が目標に達していないが、原因をどう分析しているのか。

・事務局

夜市が雨のため一部中止になったことが主な原因と考えられる。

・委員

資料4、17ページの数値目標「観光資源（「中川やしお水辺の楽校」「中川やしおフラワーパーク」「やしお駅前公園」）来訪者数（年間）」について、来訪者の集計はイベント時の来訪者に限ったものか。

・事務局

来訪者の集計については、イベント時のみではなく、日常の来訪者も含まれる。

◎基本目標3

・事務局

基本目標の趣旨、数値目標、事業の状況について説明した。

事務局から、事前質問とそれに対する回答について説明した。

・委員

資料4、23ページの「基本目標3 保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり」の数値目標「学校教育の質」の満足度（20～40代）について、平成28年度の実績値が目標値を超えていることは、素晴らしいことだと思うが、目標値を超えた要因は何か。一方で、現状値（H25年度）6.2%、平成28年度の実績11.5%は少ないように思えるが、どのように受け止めているか。

・事務局

八潮市では、基礎学力の向上と「中1ギャップ」の解消を目標に小中一貫教育の実施をしており、基礎学力の向上などの効果が見られている。また、「12 地域人材活用推進事業」や「14 家庭教育推進事業」が総合戦略上に位置づけられているように、学校と地域、家庭が一体となって教育に取り組んでいることが「学校教育の質」の満足度（20～40代）の向上につながっているのではないかと分析している。

・委員

確かに人口は増えているが、子育て環境が悪いために転出する方も多いと聞くがどう考えているか。

・事務局

八潮市は、都心から近いこともあり、草加市や足立区等の近隣市区との転出入が多いという特徴がある。また、子育て環境の整備、特に待機児童の解消等については、全国的な課題となっている。そういった中で、八潮で産み育て、住み続けてもらうことを目標に、民間の力を借りながら、子育て環境の整備に努めている。さらに、就学前の子どもの医療費の助成や誕生祝金などのソフト面の子育て環境についても整備に努めている。

・委員

待機児童については減っているようだが、どのように考えているか。

・事務局

待機児童については、平成28年4月1日現在で0人になったが、国が待機児童の定義を変更し、潜在的なニーズを待機児童数に含めるようにしたため、平成30年4月1日現在では45人の待機児童がいる。平成30年度においては、その解消に向けて、認可保育所等の整備について計画

を進めている。

・委員

八潮市には産科がないが、産科の誘致等の状況はどうなっているのか。

・事務局

八潮市に産科を誘致するため、市有地の無償貸付や設備費に対する助成などの制度を用意しているが、全国的に産科医を目指す医師が少ないことや、一定規模の土地の確保が難しいということが課題としてある。引き続き、課題の解決に向け、医師会や市内の不動産組合等と情報の共有をはかっていく。

・委員

草加市立病院における産婦人科の新規患者の受入及び分娩の受付の休止により、近隣の産科の患者がいっぱいになっているので、産科の誘致に力を入れてほしい。

・委員

資料4、23ページの数値目標「学校教育の質」の満足度（20～40代）に関連して、教育環境の整備という観点で学校に空調の設置はいつされるのか。

・事務局

学校の空調については、八潮市としても教育環境の整備という観点から重要な課題だと認識している。

現在、空調整備に向けて、熱源や整備方式、費用等について調査、検討を行っている。

・委員

資料4、37ページ「14 家庭教育推進事業」の「いのちの授業」等は、平成29年度に小学校は4校、中学校は5校で行っているとのことだが、他市では行っておらず、素晴らしい授業だと思うので、講師や学校の体制が整い次第、早急に全ての小学校で実施してほしい。

◎基本目標4

・事務局

基本目標の趣旨、数値目標、事業の状況について説明した。

事務局から、事前質問とそれに対する回答について説明した。

・委員

資料4、40ページの「1 地域防災力向上事業【先行型事業】」について、平成28年度以降の事業費が0円となっていたため、離乳食等の入れ替えを行っていないのではないかと心配したが、入れ替えを行っているとのことだったので安心した。

・事務局

平成28年度以降の事業費については、子育て親子防災教室と防災知識出前講座にかかる事業費を0円としている。離乳食等の備蓄品については、随時、入れ替えを行っている。

・委員

入れ替えを行った備蓄品については廃棄になるのか。

・事務局

粉ミルク等は公立の保育所等に配布することで有効活用に努めている。

・委員

貧困家庭などに配布するなどの手段も考えられるので、有効活用に努めてほしい。

・委員

資料4、42ページの「3 交通安全指導・教育事業」に関連して、八潮市内には歩行者専用の信号機が少ないので、増設を市として警察へ要望してほしい。

・事務局

この件に関しては、通学路を中心に市民から多くの要望をいただいている。そのため担当部でも草加警察署を通して埼玉県公安委員会に対して要望を行っている。しかし、他自治体からの要望も多く、年間に設置できる箇所に限りがあがる。歩行者専用の信号機が設置できるよう、引き続き要望を行っていく。

・委員

八潮市内は学校や公共施設の周りを含め、道路が非常に冠水しやすい。他の自治体では、止水板（※）の設置に対する助成制度がある。また、自助も重要だが、八潮市としての防災の対応は十分ではないと感じる。

※止水板：豪雨や洪水などの災害時に、建物や地下街に水が流れ込むことを防ぐ板。

・事務局

内水対策について、八潮市は、川に挟まれた地形であるため、重要な課題として取り組んでいる。市内全域の内水対策を一度に行うことは難しいので、避難所となるような施設の周辺を中心にを行っている。また、土地区画整理事業を進めるなかで、計画的に調整池や雨水管の整備に努めている。ご提案のあった止水板については、庁内関係課と協議をさせていただく。

・委員

八潮市は、特殊詐欺の件数が県内で最も多いと聞くが、市としては市民に対してこういった取組で特殊詐欺の対策をしているのか。また、八潮市内に警察署は設けられないのか。

・事務局

特殊詐欺の対策として、市は毎月、広報紙の一面において注意喚起を行うとともに、840メール配信サービスを活用した啓発活動を行っている。また、警察署の誘致については、市民の方からも多く要望が寄せられている。市としても埼玉県警察に対し要望を行っているところであるが、警察官の確保などが優先ということが現状である。今後も埼玉県警察に対し継続的に要望を行っていく。

◎全体を通しての意見

・委員

八潮市ふるさとハローワークを駅前出張所へ移設することはできないのか。

・事務局

八潮市ふるさとハローワークの設置に当たっては、様々な検討を行った経緯がある。本来であれば、ハローワークは本庁舎へ設置することが望ましいが、本庁舎に設置できるスペースがなく断念した。駅前出張所は、マンションの共有財産となっており、そこにハローワークを設置するためには、住民との協議等が必要となる。当時、早急に設置することが求められていたため、ゆまにての一部を八潮市ふるさとハローワークとして活用することとなった。公共施設については、アセットマネジメントの考え方にに基づき、今後、様々な角度から検討を行っていきたい。

以上